

都々逸エレキ冊子

唄う
阿呆に
詠む
阿呆



都々逸エレキ冊子

唄う阿呆に

詠む阿呆

冬号



はじめに

都々逸（どどいつ）は、江戸末期に初代の都々逸坊扇歌によって大成された口語による定型詩であり、七・七・七・七・五の音数律に従って詠まれる。

元来は、三味線と共に歌われる俗曲で、音曲師が寄席や座敷などで演じる出し物であった。主として男女の恋愛を題材として扱ったため情歌とも呼ばれる。

(Wikipedia より引用)

これは以前発行した「[都々逸エレキ冊子](#) [歌う阿呆に詠む阿呆](#)」から派生しました都々逸エレキ季刊誌の冬号です。

「冬」をテーマに詠まれた都々逸と、都々逸にちなんだ企画、また今回は、都々逸クラストから発生しました新しい定型詩三々歌や、短歌クラストを招いての対談なども収録されておりますので、併せてお楽しみください。

目次

題詠「クリスマス」	◆	7
テーマ詠み「年越し」	◆	14
神戸節「春待ち」	◆	21
三々歌「冬の声を聞いた」	◆	29
対談「短歌と都々逸、違いはなあに？」	◆	33
写真都々逸	◆	12 19 27
執筆者一覧	◆	

年末なんだよ I E 死ねと

呪詛呟いて鮭を狩る

小早川

鮭ハニ



題詠「クリスマス」



クリスマス イブイブイブイブイブに 僕の天使が アドベント 下弦

ハロウィン終わればもうクリスマス 二年目サンタはトイザラス 小早川

子ども抱き上げ 暦をめくり すます君こそ サンタさん おとした

子らの頭上に降るクリスマス 額にキスするサンタさん 東風

「サンタさん！ほら！鼻！赤！ピカッ！」「おう、ありがとなあ！」

トナカイ笑顔のクリスマス 和純

『お母さん！サンタはいたんだ僕会っちゃった！！』

夢をもらったクリスマス 悠佳里

プレゼントケーキもツリーもサンタもなくて曆にはあるクリスマス 猫亭屑屋

ああクリスマス！飛び立つカモメ 天へ宙へと昇りゆく 卯鷺

問おうかクリスマス虚構（マスカレイド）の星は果たして誰を指す ルオ

クリスマスバトル サンタクロースとセコムアルソック あつくん

「良い子」に招かれ いざクリスマス 煙突潜るが美人局 ボンゴレーノ麴

針は5周め鳴らない電話 指輪も凍るクリスマス 月丘ナイル

観覧車 回る灯りの中ひとつずつ誰にも見せないクリスマス トマトっぼい

この日ばかりは世界を白で包み込んでよクリスマス
砂漠谷レマ

雪が降ろうが どうでもいいの 独り迎える クリスマス
うさこ

もしも毎晩クリスマスなら別れの時は来ないのに
ちゃんのもの

クリスマスより幸せな目にあわせてやろう ひとりごつ
ささ

溢れる人と街の光にあの人想うクリスマス
猫屋久太

首にリボンを結わえて贈るふたり最初のクリスマス
双葉屋ほいる

キスをするとき瞼の裏に星が輝くクリスマス
スコヲプ

雪の深さの 分だけ愛も 深まってくね クリスマス 楓ようこ

黒いシートを汚さぬように含むホワイトクリスマス ひらたてる

クリスマスには金ピカうすいサガミでまずは一回戦 鷗外

席に付け！心に刻め die or work 年末進行 クリスマス あやめ

予定はないけど残業すると負けた気がするクリスマス ごろー

クリスマス街にあふれる華やかな灯のひとつは僕のいるオフィス 豆太

猫



BY
猫亭
肩屋

寝てる我が子を起こさぬように ニヤンタクロース忍び足 下弦

ニヤんて冷たい猫砂だろう 床暖お願いしたいのニヤ 月丘ナイル

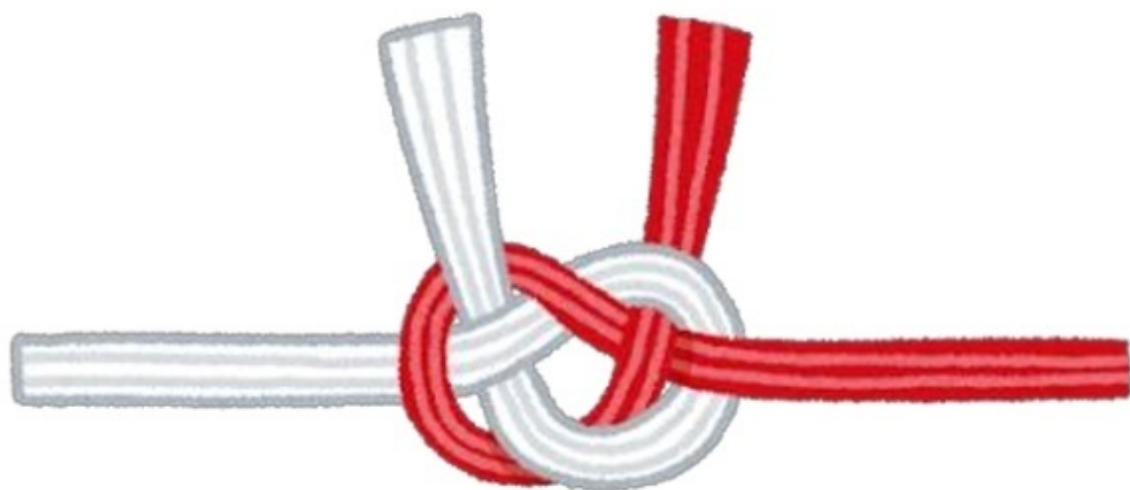
いつもコタツに こもっちゃいるが 君のためなら 獅子になる おとした

赤いマントの勇者になって 果てなき雪原征くつもり ごろー

ペローの猫にゃ負けやしないぞぬしにゃ 上着の恩がある ルオ

お店で値段がついてるヤツと 外のアタシの 何違う 猫亭屑屋

テーマ詠「年越し」



おせちをあなたの 故郷の味に 合わせ作るを 幸と言う おとした

餅つきのあと喧嘩をしてはまた餅をつく仲のよさ 卯鷺

『今年も年越しジャンニーズでいい？』父はあきらめ笑む母娘(おやこ) 悠佳里

勝手にリモコン奪って 楽団見守る君が好き、ずるい あやめ

小林幸子ビームを撃てば東の空が火の海に ちゃんのもの

人が定めた善悪なんて知ったことかと鐘が鳴る あっくん

百と八つの鐘突くたびに街の腐女子が消えていく 双葉屋ほいる

耳を澄ませば褥の吐息隠しきれない鐘の音
猫亭屑屋

カウントダウン 君の笑顔とコタツみかんに 胸がキュン 楓ようこ

年が明けたら何しようかと 笑う貴方にキスしたい うさこ

手繋ぎ誓うまた来年も一緒に聞こうね 除夜の鐘 猫屋久太

最初に見るのがあなたであればとカウントダウンで目を閉じる ひらたてる

二人の暮れすら寝て越すひとをさあ明けますよと蹴り起こす ごろー

早いもんだとくぐもる声音 天ぷら蕎麦の湯気の中 小早川

蕎麦の代わりにうどんすすって『さら』の年待つ讃岐人 ルオ

くちびるかする年越しそばの距離にいるからそばにいる ささ

光るデスクで鐘の音拾い 啜る緑のためきそば 鷗外

もうすぐ始まる新しい年 1, 2の3でジャンプせよ 豆太

ゼロと同時に空中へ舞う 息子と猫とニシンそば 東風

終わり始まり合わせて過ごす並べた布団のあたたかさ トマトっぽい

コタツもお重も年賀も四角 お年玉だけなせまるい 下弦

「いろは札、飽きた」と話し(は無し)て 亥(い)の刻 呂(ろ)の字 憎いお人は憚るわア 和純

鐘が鳴る鳴る携帯電話 紙もエレキも賀正が踊る ボンゴレーノ翹

巫女の装束羽織って日の出入り良き年待つ五分 砂漠谷レマ

鶏も日の出も待つのに飽いてお先に昇る姫始め スコラブ

秘めた想いに焦られるよりも私にしなよ姫初め 月丘ナイル



鳥



PHOTO
BY
ILTA

寒くなるたび河岸を変えるよ浮気な質の渡り鳥　　卯鷺

どこの軒より 木々の陰より 居たいあなたの羽根の下　　おとした

寒い夜には俺たちだって羽毛布団で眠りたい　　スコラブ

逃げろや逃げろケンタ○キーがここにもチキン狩りに来る　　ちゃんのの

不良転入生へと「おはよ!」「おはよ。寒いな」わ、笑った!　　和純

あなたの背中　目指す小走り　努力の跡は水の中　　楓ようこ

神戸節「春待ち」



気付きや季節も三度目の冬 枯葉踏みしめ進む道

受験準備を口実にして集い勉強そっちのけ

夢を語れば待ちきれなくて春が遠くに思えてた

来ない 来ないと信じてただけ 春の匂いを運ぶ風

「桜咲いたら最後になるな」互いの未来で春を待つ

「高校三年生」 トマトっぼい

三ヶ月後には決めねばならぬ 都会に残るか去りゆくか

人混みスルリと擦り抜ける技 田舎じゃ使わぬ処世術

日本はどうしてこんなに広い バカにならない交通費

待っているよと笑う悪友 そばにいてよと泣く彼女

ちっとも決心つかないままに春の陽射しが僕を刺す

「三叉路」 あつくん

すべてに『最後』が付く一年の最後の行事を待っている
 迫る未来にはなす術もなく離れちゃうねと再確認
 いつかまた会うとき着けてと贈るマフラー桜色
 ここで誰もが育てた種の花を咲かせにいくのです
 空に掲げて繋いだ手と手今日の別れも憂うまじ

「おめでとう」 ゝろー

嘘つき嘘つき大嫌いって君が泣いてたそのわけは
 道を違える未来を決めた二十歳の勝手な僕のせい
 言葉足らずに失ったのは拙い恋か幻か
 後悔なんかはしてない、だけど思い出さないこともない
 あれから十年 同窓会の葉書見つめて春を待つ

「春待ち」 小早川

藍の夜空に息を溶かして朝の向こうの春を待つ
 幾夜幾年過ぎ去れどまだ来ない迎えの春を待つ
 白を羽織って頭を撫でて冬の日発った君を待つ
 照り映ゆる様髪を伸ばして銀の世界で君を待つ
 瑠璃の天球噎せる沈香幻請うて終(つい)を待つ

「待ち人」 ルオ

咲いた桜もまた雪かぶり萌える緑もまた埋もれ
 澄んだ青空流れる白に重ねて流す白い息
 酒で温もり寒さを忘れ花びら凍る花見酒
 南の方では卒業式に桜が咲くってマジですか
 積もりなおした新雪の下 ふきのとうたち春を待つ

「四月」 豆太

冬のある日にしまった酒を春と名付けて温める

猪口に映った満月眺めまるい面影重ねだす

指折り数えりやこの世の春はふたり過ぎたことばかり

白き湖面に唇寄せて明日はあなたにくちづけを

体半分眠りの中で過ごすふたりの春を見た

「白波を抱く」 スコラブ

共に暮らしてみないかなんて言われなくなる春の前

今はこれでも許してあげる雪の街から来る電話

木々が緑に色づく頃は同じ景色を見たいもの

望む言葉のかけらがあればひとり待つのも悪くない

夢で抱かれたせいなのかしら早くほころぶ桃の花

「雪はまだある」 ひらたてる

惚れた睡れたの駆け引きなんぞとうに忘れた命懸け
頬を染めても紅をひいても夜の床では見えはせぬ
吐息 宵闇 はだけた襦袢 溢れる泉に手を浸し
髪も小指も血潮も全て主に捧げてみせませう
明けの明星お呼びでないよ今宵桜が乱れ咲く

「この世の春を謳歌せよ」 月丘ナイル

花



ゆかり

こんな天気じゃお寒いでしょと御伽噺の真似をする せいや

愛おし君へと笠を差し出し 褒美は御身の艶やかさ ポンゴレーノ翹

咲いてほしけりや守って送れ 何より着た格差金でやる あやめ

囲いの花は知りはせぬだろ六（む） つの花とて花は花 ルオ

牡丹いちりん咲くのを見れば背中押されて気も晴れる 卯鷺

風にも雪にも負けない花をあなたによく似た一輪を ごろー

三々歌 「冬の声を聞いた」

砂漠谷レマ

三々歌（さざんか）とは、砂漠谷レマ発案の新しい定型句。従来の和歌を中心とした定型詩の五音、七音から離れた独特のリズムが特徴。

三音十三音十三音で形成され、基本的に体言止め、武玉川に近い「ひらめきの凝縮」という感覚を重視する。



冬の声を聞いた

氷柱凍る響き

針が大地を縫う

一夜明けて真白

熱いシチューとパイ

湯気で窓も白く

火傷せずに飲める

コツは今になって

冬の声を聞いた

春を招く響き

池が割れる前の

軋む氷の音

消えた緑の命

春を待って眠る

種を抱く雪の

中で今は眠れ

冬の声を聞いた

雪の積もる静か

やがて一人になる

ことに気付く孤独

やがて水が流れ

木々が緑芽吹き

白は赦すように

世界を解放する

冬の声を聞いた

薪が燃えて火の粉

今の父の顔と

よく似ていたサンタ

愛す者の夢を

炎の揺れに見て

手を伸ばしてみても

燃えるような夢幻

耐えた者が残る

ここで諦めるか


明日の世界見たい

まぶたを開け此処は

光溢れきらり
最後の雪が溶け
君は死んで生まれ
春の声を聞いた

対談



あいびき 

対談「短歌と都々逸、違いはなあに？」

双葉屋ほいる、月丘ナイル

都々逸と短歌は似ている。

どちらも定型詩、語数の違いはたったの五文字。似ている、だが違う。確実に違う。その違いは何か。都々逸クラスタ筆頭下ネタ師双葉屋ほいるが、共に短歌エロティック・クインテッドに属する月丘ナイルを迎えて対談を行った。

双葉屋ほいる（以下ほいる） よろしくお願ひします！

月丘ナイル（以下ナイル） よろしくお願ひしますー♥

ナイル どのあたりの話題から入ろうか

ほいる とりあえずはわかりやすく「短歌と都々逸、どう違うの？」というところからいきましようか。ナイルさんは最近都々逸も詠んだことありましたよね？

ナイル こばぴー（注1）あたりと繋がるようになって、少しずつ都々逸クラスタ

をフォローするようになって、都々逸のリズムに惹かれるようになったんだよね。それで、あ、まねっこしたい、と詠んでみるようになったの
 さすが小早川さん巻き込み型！

でも、まだここ最近なんだよね、私が詠むようになったの。九月くらいか

らかなー？

ほいる はじめては九月の末みたいですね、九月三十日。はじめて：／／↑

ナイル そう、はじめて(笑) 最初は都々逸のリズムもよく知らなくて、それをツイートしたらこぼぴーが前のエレキを勧めてくれて。なるほど、こんな世界もあるのか、と。

ほいる なるほど！ きっかけはあれでしたか！ うーむ、布教力はんばない！

ナイル そうなの！ だから今ほいるんとエレキの対談してるの、ドキドキ♥

ほいる やだあナイルさんたら照れるう(ぽっ)

ナイル うへへ↑

ほいる よーし今夜は質問攻めしちゃうぞ！↑

ナイル ああん攻められる♥↑

ほいる ぶふっ

ナイル ほいるんは、もともと都々逸のひとなんだっけ？

ほいる いえ、元々を言うならば動画投稿者ですね、お歌を歌う人です

ナイル あー！モダンゴールド！（注2）めっちゃかつこよかった！！

ほいる ありがとうございます！ありがとうございます！モダンゴールド裏話なんて

のもエレキ冊子の企画案にありました、おかげさまで。

ナイル 聞きたい♥

ほいる 今回はやりませんよ！

ナイル 残念！企画から十ヶ月の大物！

ほいる 元動画自体は制作期間九日間ですもの！PVは超大作ですけど！

ナイル ほいるんの歌はもちろん、都々逸クラスタのお絵描き、小説書き能力すご

い！！あとこぼぴーすごい！！めっちゃリピートして聴いたよー♥

ほいる 都々逸クラスタはマルチプレイヤー多いですよ！（ヤニ）

ナイル ほんとだよね…びっくりしたよー

ナイル 短詩に関しても都々逸と短歌、かけもちしてるひとけっこういるね。世界

観はけっこう違う気もするけど短歌クラスタにも都々逸詠むひといるし共通点と、相違点はどのあたりだろう？

ほいる

どちらも七五調ですけど、世界観は随分違うかなってよく思っんです。短歌は情景を描くイメージ、都々逸はうまいこと言うイメージ。短歌は情景描写、都々逸は心象描写なんて言ったこともありましたが。

ナイル

名作の都々逸も、うまいこと言った感すごいもんね！大喜利とかにも通ずる要素なのかな、カッコいい！って思わせる。あとは洒落とか風刺とか。

ほいる

そうかも知れませんか、そういえば都々逸詠みにも大喜利の人がちらほら。

ナイル

うんうん、前回のエレキでもスコラブさんが都々逸と大喜利の話をされてたね。

ほいる

そうですねえ。短歌は洒落とか風刺とかあんまり詠まないんです？

ナイル

もちろん詠んだ作品はあるけど、あんまり多くはないと思う。川柳とかはまた少し変わってくるね。

ほいる

川柳と都々逸は近いものがあるかもですね。どちらもはじまりは江戸時代

ですし。

ナイル うん、着眼点がより実生活に根ざしているのかもしれない。お綺麗事で飯

が食えるか！みたいな↑

ほいる 逆に短歌は綺麗なものを詰め込みやすいような。ある程度抽象的なことで

もうまくまとまる。具体例がでてこないけど…。

ナイル 愛をテーマにした作品でも随分違うよね。短歌は恋文である和歌からきて

いるからあんまり生々しいことは言わない、とか（笑）。昔は性愛を詠むと驚かれたって言うし。

ほいる 都々逸は俗曲からきているので情歌が多いですね、その辺は短歌と対極か

なあ。でもこの間の「けだものだもの」は…（注3）

ナイル だってほら、あの五人だったから……

ほいる 小野小町が読んだら卒倒しそう（笑）

ナイル するだろうね！鼻血を吹いてくれるかな（笑）でもあれも、勇敢だっていう向きの感想がけっこうあったね。

ほいる あー、そういえばそうでしたね！ やっぱりあまりない傾向だったんでし

ようね

ナイル それってつまりは短歌は主体Ⅱ自分と思われがちでああ、こいつこんなセ

ほいる ツクスするの…って思われる可能性と隣り合わせだってこともあるなど。
ひゃあああナイルさんのえっちー！

ナイル 否定しない！（笑）

ほいる そうそう、その感覚すごく不思議なんですよ。主体が自分っていうの。先日議論になってたときも、都々逸クラストってそんな雰囲気なくてわりと空想でもバンバン詠んじやう人は多いんじゃないかなって

ナイル 私も、そこはあまり短歌クラスト（というよりも、古典的に短歌と取り組む方達）の流れを組んでいないからなんとも言えないんだけど。

ほいる ああ、よりクラシックなのかなあ。

ナイル 私なんかゾンビの歌は詠むは身内を殺す歌は詠むは……

ほいる （爆笑）

ナイル 目玉取れちゃった♥みたいな↑

ほいる いやーん↑

ほいる ナイルさんはゾンビでワニ（確信）

ナイル ワニ短歌も詠んだよ！がぶりとキスする歌とか。

ほいる 折本出してみましたよね？

ナイル あ、そうそう、ナイルワニシリーズ（笑）

ほいる 食べちゃいたいくらい好き（物理）

ナイル それそれ。コトコト煮込む！あと、ほいるんと言えば逢い引きハンバー

グ♥ あれ、すきすき！

ほいる うおー！それを好きといってもらえるとすごく嬉しい！嬉しい！皮すらも

まどろっこしい！

ナイル そうなんだよわかるよ！！剥いでやる！！って思うから（笑）

ナイル 私は気持ち的には短歌も都々逸も詠みたいのかも、ってあの時にも思った

ほいる ハンバーグしゅごい…

ほいる じゅーしー♥ あの感覚は短歌と都々逸に共通するところがあるかもなあ、

と今ログを遡って思いました。

ナイル うん、私もそう思うな。

ほいる ナイルさんのハンバーグ都々逸ありました。

「愛し合うのもまどろっこしい今宵逢い引きハンバーグ（月丘ナイル）」
私のは短歌でしたね。

「合い挽きのハンバーグになりたかったと君は包丁片手に僕を（双葉屋ほいる）」

ナイル この時は私が都々逸を、ほいるんが短歌を詠んでるね。発端はほいるんの都々逸だったっけ？

ほいる 逢い引きハンバーグネタはですね、実は#twpoem（注4）が最初でした！

「寂しくて寂しくてたまらないからあなたと合挽きハンバーグになりたい #twpoem」

ナイル おおー！基本発想はまったくおなじだね！

ほいる 私の都々逸はこっちですね。

君と私を合い挽きにして 混ざり合いたいハンバーグ（双葉屋ほいる）
実は何回か引っ張ってきてるんですねははは

ナイル #twpoem、都々逸、短歌で同じお題！面白いなー。

ほいる いろいろ出来るのでみなさんも是非（画面の向こうに）

ナイル 投稿お待ちしてます♥（違）

しかしほいるんのお気に入り度合いがうかがえるヨ

ほいる あ、わかります？（笑）

ナイル わかるよー

ほいる 未だにこのネタ気に入ってます

ナイル 私もだいすき！ よければたまにお借りしたい。

ほいる やったー！ もうどんどんこねこねしてください！

ナイル これでネプリ作りたい勢い★

ほいる 逢い引きハンバーグ企画…↑

ナイル ほいる&ナイルの逢い引きハンバーグつくろ♥↑お料理番組風に

ほいる こう、可愛いエプロンしてるのに手は血まみれみたいな…

ヤンデレだーーーーー！！！！

すごいイイーーーーー！！ R18♥

ほいる （グロ）

ナイル (＆エロ)

ほいる なんですか我々はエログロナンセンスで行くんですか！！！！ (爆笑)

ナイル 他になにがあるっていうの！

ほいる もはや短歌でも都々逸でも作れそうだからこわいよー！！！！

ナイル 生きるってエログロ♥作れる作れる♥

ほいる エログロは作れる (真顔)

ナイル (爆笑)

ほいる 何の対談だこれー！！！！

ナイル あっ話がそれてるいつの間に！！！！↑

ほいる あるある↑

ナイル 真面目に話してたのにー！！！！ 短歌と都々逸の共通点について↑

ほいる まあ、うん、その辺はあんまり垣根がないのかもしれないかもしれませんねーってまとめてみる↑

ナイル 特に私たちはどっちも詠むし

ほいる 恋のお歌は共通項かもですね。よっ！愛の使者ナイル！

ナイル よかった性の使者じゃなくて↑

ほいる そういえば都々逸だと「七七七五でも三四一四三一二四一五で詠むとテンポがいい」みたいなのがあるんですが、短歌ってそういうの聞いたことありますか？

ナイル んん、少なくとも都々逸ほど明確には言われていないと思う。私が不勉強なのはあると思うけれど短歌は、声に出すとしても朗読で、節をつける、っていう意味での歌ではないんだよね。

ほいる あー、なるほど…都々逸は元々節をつけて歌うものだったからそのなごりがあるのかもですね。それこそ神戸節。

ナイル モダンゴードもそうだし、今回エレキで神戸節を詠むにあたって短歌では句跨りとか定型のリズムを意識していたものが、「歌」であるところのリズムを意識しているのはまた違うんだなと思ったよ。

ほいる おお！ナイルさんが神戸節！

ナイル 初！

ほいる はじめて…//↑

ナイル あれなんだろデジャヴかな

ほいる なんだろーなー

ナイル (笑)でも、これが逆にね、神戸節を詠んだあと短歌を詠もうとしたときに「歌」を意識する自分がいて面白くもあつたよ。

ほいる ほほう。短歌に曲がつく、っていうのはあまりなさそうですね

ナイル うんうん、音階を添えるものではない、という。あくまで朗読。

ほいる そこにリズムの違いが出てくるんでしょうね

ナイル 詩と歌詞の違いとも言えるかな？ 歌ってどうか、リズムに乗せてどうか。

ほいる 句跨りの存在もそこが大きく影響しそう

ナイル そうだね、句跨りしたら歌いにくいだろうね。きっとそこは都々逸や神戸

節で座五が大切になる意味なのかも

ほいる 厳密に句跨りしちゃだめー！っていうのはないんでしょうけどなんとなく

避けちゃいますね、ゴロが悪いかなーとか

ナイル うんうん、じっくりこないというか。都々逸はやっぱり七七七五が美しい

なってると思う

ほいる 無意識に座五できっちり締めちやう

ナイル その上で、そこを吹っ飛ばす作品の魅力もあるわけだけれど、こばぴーに

ほいる も、そこはアドバイスもらった。わかりやすく、すとん、とハマる座五
後ろの締めまりが：いやなんでもないです

ナイル あっ、キツイ♥↑

ほいる 小早川さんここ入れてください是非↑

ナイル ヒドイ(爆笑)

ほいる 短歌の終わりは余韻を残しても残さなくても素敵に仕上がるからそこは自由度高いかなって思います。

ナイル 百パーセントを語らない魅力、続きを想像させる楽しさ。短歌のいいところ、と思うね。でも都々逸には、バシツとキメて欲しい！って思うからそこはジャンルの違いかしらん？

ほいる ミステリアスな美女と、さばさばお姉さんみたいな

ナイル あー、(なんとなくしっくり)

ほいる 迷うなあ♪短歌なのー♪都々逸なのー♪どっちがタイプよー♪

ナイル こっんなふうになあっちゃうのはーどっちも好きだからーらーよー♪

ほいる こんなふう（ド変態）

ナイル ほいる、濡れてるよ…♥

ほいる 短歌も都々逸も好きだから…//↑

ナイル どっちも好きですね（真顔）

ほいる 好きです（真顔）

ナイル あ、あと、一人称、二人称の違いもあるかも！

ほいる お？一人称二人称？

ナイル 短歌はね、君、私、僕、俺、あなた、とかよく出てくるんだけど、都々逸

はもう、主！！自分が使い慣れてなくても、これが一番カッコいい！

ほいる ぬし！

ナイル そうー！実生活を読むならまた違うのだろうけど、ぬしカッコいいよー！

ほいる 一人称が「わっち」のときもありますね

ナイル うんうん、廓の言葉だよね。みんなのまねっこで都々逸詠み始めたときに

こういう口調を身につけて詠めるようになりたいって思ったよ。

ほいる なんとなく色っぽさがありますよね。お座敷と遊郭って厳密には違うんだ

ろうけど（詳しくない）

ナイル そうなんだよね、どこを色気と感じるのか不思議なんだけど、言葉の生まれ
れた背景は関係ある気がする。

ナイル 実際に芸子さんは今も使う口調なのかな（詳しくない）

ほいる 識者をお待ちしております（画面の向こうに）

ナイル こばびー：

ほいる 小早川さんいつもすみません★

小早川 （おれだって知らんがな）

ナイル なんかいろいろ言って盛り上がっちゃったけどけっこうな量だね（笑）そ
ろそろ締めようか。

ほいる そうですね（笑）まあ、うん、短歌も都々逸もどっちも面白いよってこと
で↑

ナイル みんな都々逸も短歌も詠もうぜ！ってことでー！！

ほいる ありがとうございます！誘ってよかったー！！！！

ナイル またぜひ一緒にになにかやろう♥逢い引きハンバーグでも♥
 ほいる あっ、同じこと考えてました(笑)
 ナイル かぶった(笑)
 ほいる ではではそろそろこの辺で!
 ナイル ありがとうございますー!!

注1 (こぼぴー): 編集者小早川のこと。こぼぴー言うな。

注2 (モダンゴード): 双葉屋ほいるが作詞・作曲し自ら歌った楽曲。

http://www.nicovideo.jp/watch/sm24947099?ref=search_key_video

注3 (けだものだもの): エロティッククインテッドによるエロ短歌ネプリ。

注4 (#twpoem): twitter上で書かれる詩(ポエム)のこと。



執筆者一覧 (五十音順・括弧内ツイッターID)



あっくん (@seamallow)

字余り太郎と字余り花子の襲撃を受けました。



あやめ (@ayameyame)

クリスマス都々逸の何割が社畜ってるか楽しみです。



卯鷺 (@SUZUKI_Lapin)

実家では、つきたてのお餅をのし餅と鏡餅とに仕上げる

段取りで毎年揉めてます。熱い餅が手にくっつくは焦るはで、イライラするらしい。ひととおりの片付けば、治まるんですけどね。



うさこ (@Imusaco)

参加させていただきありがとうございます。うた詠みの皆さまの年の始まりが素敵なのでありますように。



東風 (@kochi_192)

七輪囲んで花札したい 酒と唄ありやもっとい



和純 (@kasumivoice)

冬の宵 恋(こ)うた添うたと小粋な小唄 歌うたあんと
に酔うてもた。



下弦 (@kagen_s)

ビバ冬眠



楓ようこ (@duomable)

ギリギリで滑り込ませていただけて感謝感激幸せな冬！



おとした (@truebrace)

こんな情景ええなあ…を託せるのが歌詠みの醍醐味だと
実感。



鴉外 (@vortice_)

都々逸ベケベケかき鳴らす



小早川 (@dodoitsu)

アジトの炬燵で七並べしてそのまま雑魚寝で年越したい



ごろー (@urashimagoron)

冷え性で冬は苦手です。が、今回はそれはさておいて、冬を楽しむ気持ちで詠みました。



やちゅ (@sstkn)

ときどき旅に出ます



砂漠谷レマ (@splanxizomai) 都々逸エレキテル連合「次回も発行しなきゃダメよ」

ダメダメ」私「お前ダレよ」ダレダレ」



スコラブ (@scope_scape)

同じ阿呆なら熱持て詠え冬の阿呆はなお熱い、都々逸下イドイ浮世はサクサク、ありがとうございました。



せいや (@petichante)

祭囃子が聞こえたならば集い踊るがどどの粋



ちゃん's (@renga57577) 「冬のお風呂は気持ち良すぎて疲れるよね」でお馴染み

のちゃん'sのです。最後まで読んでいただきありがとうございます
ございました。



月丘ナイル (@nyle_222)

短歌と都々逸詠んでいます。こばぴーの都々逸に憧れて参
戦。情歌の腕を磨きたいです。



トマトっぽい (@vo1_008)

冷えてきました風邪インフルに気をつけいきましょ元気
よく！



猫亭屑屋 (@gatta_auto)

なにかと多忙な年末時期にまいどお疲れ様でした



猫屋久太 (@nekoya222)

時が経ってもやっぱり生クリームとカスタードにもふも
ふしてたいお年頃。



ひらたてる (@BB_teru) 毎度毎度の滑り込み投稿ズザー



ほいる (@hoiru_utayom(i)) おっばいは世界を平和にする。

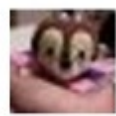


ボンゴレーノ麴 (@peperoncino_k) 秋を飛び越え冬まで歩き、次は何処行く謡う民。

笑い笑われ日々紡ぎ、紙面を泳ぎていざ行かん



豆太 (@qwerty_misp) 思ったより社畜もどども控えめでした。遠慮した？



悠佳里 (@yukari_rito) 年越し都々逸はノンフィクションでお届けします。



ルオ (@ruo129) 普段は珈琲と蜜柑を愛し巣に籠る、文字書き白臍です。

以上 二十七名

都々逸エレキ冊子 唄う阿呆に詠む阿呆 冬号

二〇一四年十二月二十四日 発行

執筆 都々逸クラスタ一同

装丁 猫屋久太

編集 小早川、ルオ、豆太

本書の内容についてのご意見・お問い合わせは
編集者のツイッター([@dodoitsu](https://twitter.com/dodoitsu))にお願いします。

